

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書—(変更計画書)ー

2021年 5月 7日

(宛先)

滋賀県知事



提出者

住所

(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

滋賀県湖南市菩提寺字平尾2097

氏名

(法人にあっては、名称および代表者の氏名)

王子コンテナー株式会社 滋賀工場

工場長 伊福 剛



滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例
の規定に基づき、事業者行動計画を
策定—(変更)—したので、提出します。
同条例第20条第4項

事業者の氏名 (法人にあっては、名称 および代表者の氏名)	王子コンテナー株式会社 代表取締役 伏野 裕
事業者の住所 (法人にあっては、主たる 事務所の所在地)	東京都中央区銀座5-12-8 王子ホールディングス 1号館

1 事業所の概要

事業所の名称	王子コンテナー株式会社 滋賀工場		
事業所の所在地	滋賀県湖南市菩提寺字平尾2097		
主たる事業	細分類番号	1 4 3 2	段ボール製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロットル以上の事業所を 県内に有する事業者		
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者		
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者		

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計 画 期 間	2021 年度	～	2025 年度
---------	---------	---	---------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

企業活動と地球環境との調和を目指し、資源の有効活用と環境汚染の防止に積極的に取組み、良き企業市民としての社会責任を果たす。

- 1、段ボール事業を通じて、地域環境の保全並びに地域との共存を企業活動の基本として行動する。
- 2、生産活動、製品及びサービスにかかる法規制及び自主管理基準を含むその他の要求基準を順守した環境活動を推進する。
- 3、技術的、経済的な事情を配慮の上、事業活動が環境に与える影響を低減し、さらにリサイクルの推進を図る。
- 4、地球温暖化対策として、省エネルギーを推進し二酸化炭素排出量削減に努める。
- 5、生産工程からの廃棄物発生量の削減、廃棄物の有効利用などを一層推進し、廃棄物最終処分量の減少に努める。
- 6、環境目的・目標を設定運用し定期的に見直しを行う。
- 7、環境の持続的改善及び汚染の予防のため、定期的に内部監査、マネジメントレビューを行い、環境マネジメントシステムを継続的に改善する。

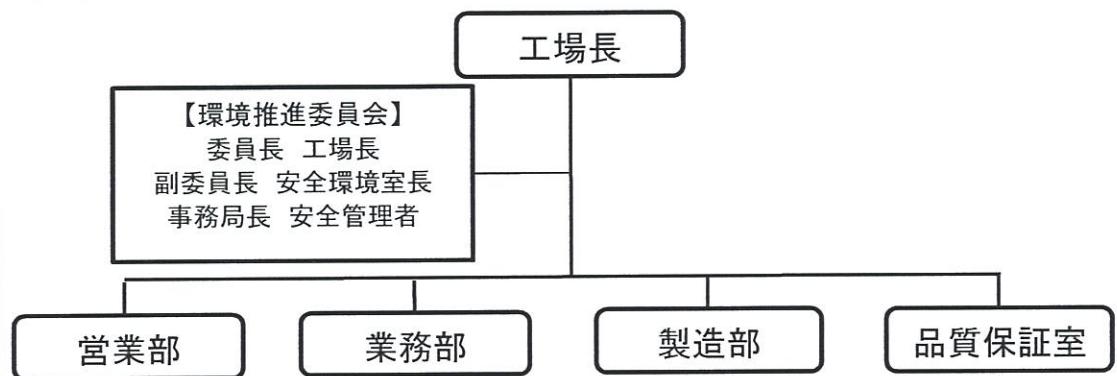
3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

○責任者

工場長(環境推進委員長)……工場の環境活動に係る運用管理、監視、測定等
の環境活動の推進、フォローの管理をする。

安全環境室長……工場の環境保全活動計画、進捗管理、環境情報の調査及び提供、課題事項への
対応並びに工場長への上申、申告を行う推進責任者である。

○推進体制(組織図)



○従業員教育

毎年3月に、内容及び実施時期を明確にした『年間計画・進捗管理表』を作成し、
安全環境室長はこれを審査し、訓練の結果を『環境教育・訓練実施記録』に記録する。
(教育の内容は、従業員の環境に関する知識・能力を向上させることを目的とする。)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

- ・産業廃棄物をさらに分別することにより再生燃料となる処分とする。
- ・デマンド監視装置の運用。
- ・機械設備使用していない区画の消灯。
- ・事務所、応接室、会議室、食堂等の照明をLEDに変更。
- ・フォークリフトをエンジン車からバッテリー車に変更。
- ・営業車にハイブリッド車を導入
- ・工場内全ての照明器具を省エネ効率の高い照明設備に更新。
- ・食堂、会議室エアコンを省電力タイプに更新。
- ・電力使用量削減のためインバーターコンプレッサーに切替(更新時切替予定)
- ・不要配管、蒸気漏れ等の点検見直し
- ・貼合熱板の保温

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	運用対策	生産量平準化の推進による電力使用量削減	継続実施
2	運用対策	不要な照明の消灯励行・事務所19時退社の推進	継続実施
3	運用対策	不要配管・蒸気漏れ等の点検・見直し	継続実施
4			
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

前回の計画期間は生産性の改善、設備不具合箇所の早期発見などが奏功し、改善が見られました。今後も同内容を継続していくますが、設備も老朽化が進むなか、対応可能な改善は既に終えており、大きな改善は見込めません。非効率な小ロット生産品目の見直しなどで25年度は20年度比1%以上の改善を目指します。

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1 3Rの推進	・廃プラスチック類(分別により一部)焼却処理せず、RPF化し燃料として活用 ・木屑類は、粉碎し木材チップとして燃料用や建築用として活用	実施中
2		
企業活動		
4		
5		
6		
7		
8		